

2025年3月20日

No. 650

4月、7月、9月、11月、1月、3月
20日発行

発行人
〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
公益社団法人 福島県畜産振興協会
電話 (024) 573-0515
FAX (024) 573-0565
URL <http://fukushimalin.gr.jp/index.htm>
anteil@bz03.plala.or.jp
kanri-eiseika@bz03.plala.or.jp
keikai@bz03.plala.or.jp
編集者 森 口 克彦
印刷所 (株) 第一印刷

ふくしまの新ブランド 福島牛「福粕花」のおいしさに関する研究

福島県農業総合センター畜産研究所

令和6年12月9日、福島牛に新たなブランドが誕生しました。その名は、福島牛「福粕花（ふくはっか）」。

酒どころ・ふくしまの酒粕を食べて育った福島牛、その特徴である華やかで上品な風味を連想していただけるよう、酒粕を花に例えて名付けられました（図1）。

福島県は、新酒の出来栄を競い合う「全国新酒鑑評会」において、史上初の金賞受賞蔵数9回連続日本一に輝いた全国有数の日本酒の産地です。そこで、県では日本酒の副産物である「酒粕」に着目し、令和3年度から地域未利用資源を活用した新たなブランド牛の開発を進めてきました。

まず、酒粕の飼料化について、JA全農福島県本部等のご協力により検討した結果、酒粕を乾燥・粉碎することで、保存性と扱いやすさが向上したことから、パウダー状の酒粕を飼料として給与することとしました（図2）。

次に、酒粕の給与方法の検討にあたっては、県内和牛肥育農家の方々にご協力いただき、出荷前の一定期間に県内産酒粕（100g/日/頭）を給与する肥育牛と、酒粕を給与しない肥育牛（以下、無給牛）について、飼養管理を行っていただきました。

そして、畜産研究所では福島大学らと協力し、肥育牛への酒粕給与が牛肉にどのような影響を与えるのか、正に、福島牛「福粕花」のおいしさの裏付けとなる研究を進めてきました。

畜産研究所が実施した牛肉の嗜好性（好ましさ）を評価する嗜好型官能評価では、消費者を代表する50人のパネ

リストに酒粕を90日間給与した牛と無給牛を食べ比べていただきました。その結果、酒粕を90日間給与した牛は、無給牛と比較して、「やわらかい」「ジューシー」「脂の甘味が強い」「全体として好ましい」などの項目が特に高く評価されました（図3）。さらに、給与日数による違いを調査した嗜好型官能評価において、酒粕を90日間給与した牛は、酒粕を60日間給与した牛と比較して、「やわらかい」「ジューシー」「脂の甘味が強い」が特に高く評価される傾向にありました。

また、福島大学の分析においても、酒粕を給与した牛肉では、和牛の香りに関する物質として注目されている「ラクトン類」が高いことなどがわかりました。

その他の分析においても、福島牛「福粕花」のおいしさを裏付けるデータが数多く得られています。

今後、福島牛「福粕花」には、福島牛の評価を更に高め、福島牛のブランド化をけん引する役割を期待しています。



図2 酒粕パウダー



図1 福粕花のロゴ

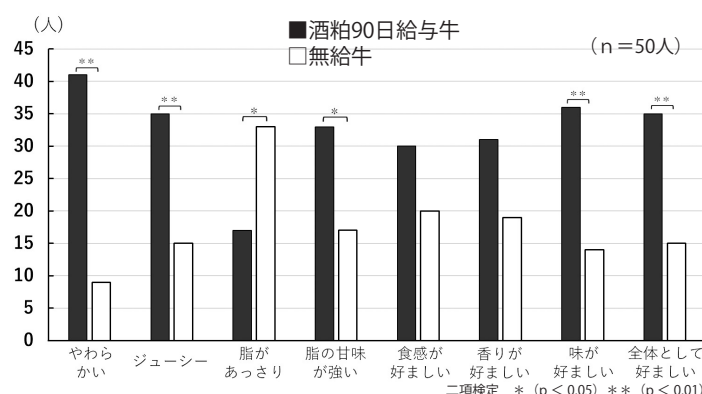


図3 嗜好型官能評価結果（酒粕90日給与牛と無給牛の比較）

『ふくしま和牛シンポジウム』

令和7年2月11日(祝)、コラッセふくしま(福島市)において『ふくしま和牛シンポジウム』が開催されました。

和牛生産をめぐる厳しい情勢を踏まえ、福島牛の生産性向上と高品質化によるブランド力強化を図るため、福島県農業総合センター畜産研究所が研究代表を務めている「福島和牛総合評価技術開発グループ」の主催により、「ふくしまから新技術を発信！福島牛の肉質を評価し、おいしさの要因を探る」と題して、福島発の新技術とおいしい「福島牛」に関する情報を全国に向けて発信するシンポジウムとして、準備されたものです。

祝日の開催にもかかわらず、会場には県内外から肉用牛生産振興に関わる技術者の方々をはじめ、畜産を専攻する大学生、農業短大生のほか、和牛肉のおいしい話に興味を示した一般の方も訪れ、満員御礼の催しとなりました。

また、シンポジウムに併せて、「福島和牛総合評価技術開発グループ」が研究開発してきた成果や福島の新しいブランド牛肉「福柏花(ふくはっか)」のおいしさ等についてのパネル展示も行われ、来場者は研究担当者に質問をするなど、活発な意見交換も行われていました。



<午前の部>では、福島県畜産研究所の小松一樹研究員と福島大学食農学類教授の石川尚人先生から、福島のおいしいお酒の酒粕を食べた福島牛「福柏花(ふくはっか)」のおいしさについて科学的な視点からわかりやすい解説があり、成分分析や官能試験の結果、脂の甘味、そして和牛の香り「ラクトン」がより際立つおいしい牛肉であることがわかりました。(詳細は、福島県畜産研究所の本紙記事P.1参照)



お昼の休憩時間には、コラッセふくしまの観光物産館において「福柏花」を用いた4種類のお弁当販売が行われ、シンポジウム参加者もそれぞれに好みのお弁当を買い求めて舌鼓を打っていました。また、観光物産館内ふくしまラ

ウンジのキッチンにおいては、なでしこジャパン、ラグビー日本代表の専属シェフを務めた西 芳照氏による西シェフ×福島牛「福柏花のステーキ丼」が販売され、焼きたての福柏花サーロインステーキを載せた豪華なランチメニューは持ち帰りお弁当と併せて130食提供され、大変好評でした。税込み2,160円の少々リッチな価格設定でしたが、購入された方々はとても満足された様子で、おいしすぎて思わず2つ食べてしまった方もいらっしゃったとのことでした。



<午後の部>に入り、福島県と帯広畜産大学、帯広畜産大学ベンチャー企業MIJlaboが開発した特許技術「AIを活用した和牛の肉質推定技術」について、MIJ代表取締役の鹿野 淳氏、研究開発最高技術責任者の小峰央志氏、帯広畜産大学大学院生の宮田あゆさんから基調講演があり、開発の経緯とその推定精度や今後どのような活用の仕方が想定されるか等、たくさんの情報提供がありました。



全国的にも注目を集める最新技術であることから、シンポジウム参加者の中には佐賀県、群馬県、栃木県など他県から来ている方も多数で、質疑応答ではフィールドで活用する際に用いる機器類の設定条件や精度を落とすことに繋がる禁忌事項等についての質問もあり、この技術への関心の高さと早くも導入へ前向きな試験研究機関が数県あることが窺えました。

次に、福島県畜産振興協会からは、「今、求められる福島牛とは」と題して将来の和牛生産振興に向けた提案を行いました。

「福島牛」がおいしい牛肉であることを消費者へわかりやすく説明できるよう、その理由を数値化して広く情報発信することが肝要であること、また、和牛肉のおいしさを脂肪交雑(霜降り・サシ)の量だけでアピールするのではなく、脂の質やサシのきめ細かさなど、食べる人がおいしさを実感できるわかりやすい情報の提供を積極的に行うよ

う提案するとともに、おいしい和牛肉生産へ向けて、県は新たな改良目標の設定し、次世代を担う県有種雄牛の改良を進めて欲しい、そして生産者・団体も一体となって推進すべきだと強く意見を述べました。

残念ながら、福島県は牛肉消費量が全国でも最下位のグループに長年甘んじています。「福柏花」が登場した今こそが潮目で、福島県民が福島県産のおいしい牛肉に注目する絶好の機会です。このチャンスを逃さず、おいしい福島牛を県民に広く知ってもらい、まだまだ未開の大きなマーケットを開拓することによって、福島牛の生産・消費が波に乗り、和牛生産振興に拍車をかけていくことができれば、生産農家の皆さんをもっと応援できるだろうと提案したところです。



3人目の発表では、帯広畜産大学教授の口田圭吾先生から「新細かさ指数と官能評価の関係」についてと題し、脂肪交雑（霜降り）の形状が食味にどのように影響するかという視点から様々な知見を研究の成果と合わせてレクチャーしていただきました。

官能試験の結果、脂肪交雑の多い牛肉がジューシーだと評価され、脂肪の量が多いものほど小ザシ（小さな霜降り形状）が好まれるとのことで、どれだけサシが細かいかを表す指数として「新細かさ指数」が紹介されました。この指数は、和牛枝肉の第6、7肋骨間断面のロース芯の画像解析によりロース芯内の脂肪交雑一つひとつの周囲長の総和を算出し、その値をロース芯面積の $\sqrt{\quad}$ （平方根）で割ったものです。（新細かさ指数＝脂肪交雑総周囲長÷ $\sqrt{\text{ロース芯面積}}$ ）

「新細かさ指数」は、口田教授らの研究グループが提唱する牛肉の美味しさを評価する新しい指標となり得る値で、茨城県ではこの新細かさ指数を茨城県産ブランド和牛肉「常陸牛 煌（きらめき）」の選定基準に取り入れており、他県産のブランド牛肉との差別化を図っているとの情報提供がありました。和牛は肥育技術の向上と近年急激に改良が進んだことにより、脂肪交雑の度合いが高くなったことに加え、赤身肉の需要増など消費者ニーズが多様化し、脂肪交雑の多さだけでは差別化を図ることが難しい時代になって来ています。そこで茨城県では脂肪の風味や口だけの良さに関する「オレイン酸の含量」や口当たりの良さに関する「小ザシ（細かい霜降り）」などに基づいた基準を作り、自県産の和牛肉のトップブランドを立ち上げることで、国内外へ更なる販路拡大を図っているとのことでした。福島県も遅れを取ることなく、全県挙げて、福島牛のブラ

ンド力強化に取り組んでいく必要があると強く感じたところです。



シンポジウム発表の最後は、独立行政法人家畜改良センター改良技術課の松本和典課長より、「黒毛和牛のおいしさ ～福島牛をもっと元気に～」と題し、和牛肉のおいしさを様々なデータの検証によりわかりやすくレクチャーしていただきました。

この10数年で脂肪交雑の改良は一気に進み、現状すでにBMSNo.12評価の牛肉はその脂肪含有量が本来の基準となる量を超えていることから、肉質の評価においては新たな改良形質を設定し、脂肪交雑とのバランスを取っていく必要があるのではないかと提案がありました。脂肪の質を評価する一つの指標として定着しているオレイン酸含有量や脂肪酸以外の呈味成分としてグルタミン酸やイノシン酸に注目した美味しさの評価等、様々な試みが進められており、消費者が知りたい「おいしい理由」を科学的かつ分かりやすく説明できる準備が整ってきたと理解できました。



総合討論の中では、ふくしまのおいしい牛肉をいかに消費者も巻き込んで盛り上げていくか、その手段として、食べておいしい牛肉の脂肪含有量はどの程度が適度なのか十分に議論し、脂肪の質の改良と併せて新たな指標「新細かさ指数」による口当たりの良さに関する評価も取り入れながら、消費者が納得できるおいしい牛肉の生産ができれば、消費の拡大は大いに期待できるとのまとめとなりました。

畜産振興協会としては、福島県の技術者がA I肉質診断等の福島発の新技術を自分たちのものとし、農家の皆さんとうまい福島牛をどうやって作っていくか一緒に考える機会を増やすとともに、官民一体となって福島県を背負って立つ「おいしさの能力」の高い種雄牛を造成しながら、もう一度、福島のと牛生産を盛り上げていきたいと意見を述べたところです。

福島県産のおいしい牛肉「福島牛」「福柏花」が県民の食卓を豊かにし、おいしい話題が福島のと牛生産を再び活性化していくような好循環が生まれることを期待して、シンポジウムは閉会となりました。

令和6年度家畜人工授精業務に係る法令研修会開催について

福島県家畜人工授精師協会

2月20日、全葉工業株式会社で「令和6年度家畜人工授精業務に係る法令研修会」が開催され、県内の家畜人工授精師をはじめとした畜産に関わる人達が参加しました。

今回、一般社団法人日本家畜人工授精師協会 常務理事 濱野晴三(はまの せいぞう)氏を講師に、「和牛遺伝資源流出防止について 実態調査から見えてきたこと」という題で、資料とスライドによる講演がありました。昨年末に行った実態調査の結果から、人工授精所開設者の現状とこれからの課題等について解説いただき、大変有意義な研修会となりました。



法令研修会の様子

福島県酪女性部 やまびこ会 主催

令和6年度ひまわりコンクール優秀作品決定!!

ひまわりコンクールの部

最優秀賞

味戸巴子さん - 県中



ひまわり賞

佐藤恵美さん - 県中



福島県酪女性部やまびこ会（会長 斎藤 麻貴子）では、畜舎環境美化運動を実施しており、成果を披露するひまわりコンクールを開催しております。

去る1月30日（木）福島県酪農業協同組合において、令和6年度のひまわりコンクール審査会が行われました。昨年度に引き続き、畜舎周辺の美化を目指し、牛舎まわりが写っていることを条件とした「ひまわりコンクールの部」と乳牛のいる風景や酪農作業風景が鮮明に伝わる「酪農生活の部」の2部門での開催となりました。

猛暑やら秋の無い長い長い夏で、人にも牛にも花にも厳しい条件の中、皆様の丹精込めて育てた努力の成果がうかがえました。引き続き畜舎環境美化運動をよろしくお願いいたします。

審査の結果、『ひまわりコンクールの部』最優秀賞に味戸巴子さん、ひまわり賞に佐藤恵美さん、『酪農生活の部』に山田克枝さんの作品が選ばれました！

ご応募頂きました皆様、ありがとうございました。

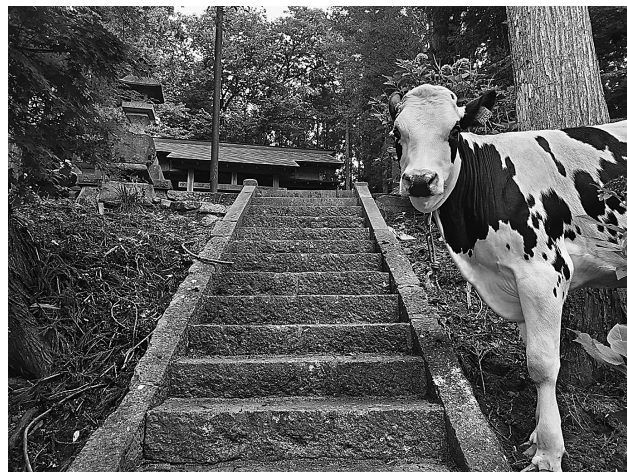
酪農の生活部

最優秀賞



山田克枝さん - 県南

「お参りに来ました。」



御用命は

- ◎牛用・豚用・鶏用
各種ワクチン類
- ◎家畜防疫資材
- ◎家畜用医薬品
- ◎家畜用衛生資材

福島県動物薬品器材協会
事務局 株式会社アスコ内
☎（〇二四三）六三一・二四八八

小田島商事株式会社
福島市鎌田字卸町十一の四
☎（〇二四）五五三一・六六七八

日本全薬工業株式会社
福島営業所
郡山市安積町笹川字平の上二一
☎（〇二四）九四五・一三〇六

株式会社アグロジャパン
南東北営業部（福島）
郡山市開成六丁目六七一
☎（〇二四）九五四・四一七一

株式会社アスコ
本宮市本宮字下台18-12
☎（〇二四三）六三一・二四八八

日新殖産株式会社
伊達市梁川町字東塩野川二五
☎（〇二四）五七七・三二二

「動物用医薬品は、
正しく使用し、
休薬期間を
厳守しましょう」

福島の大自然とみつばちからの恵み



天然はちみつをどうぞ

福島県養蜂協会

〒960-8502

福島市南中央三丁目36番地（福島県畜産振興協会内）
TEL 024-573-0515 FAX 024-573-0565



美容と健康に
おいしい
はちみつはいかが！

品質と信頼の

くみあい配合飼料

JA全農グループ

JA全農くみあい飼料株式会社

北日本事業本部

〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野一丁目12-1 いちご仙台イーストビル
TEL (022) 792-8040（代表）

南東北支店 福島営業所

〒963-0725 郡山市田村町金屋字川久保23 JA全農福島郡山ビル2F
TEL (024) 941-0825
FAX (024) 941-0827

令和6年度東日本農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会

福島県農業総合センター農業短期大学校

令和7年1月15～16日に青森県東北町「青森原燃テクノロジーセンター」において、「令和6年度東日本農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会」が開催されました。

本発表会は、次代の地域農業・農村の発展を担う東北・北海道地域の農大生が一堂に会し、日頃の研究成果や農業への想いを発表するもので、毎年開催されています。

本校からは、プロジェクト発表の部では、水田経営学科2年の大関仁之さん、畜産経営学科2年の三浦さくらさん、安齋彩夏さんが代表として発表しました。

また、意見発表の部では、畜産経営学科1年の門馬聖弥さん、果樹経営学科1年の伊藤孝誠さんが代表として発表しました。

南相馬市の肥育農家の後継者である畜産経営学科の門馬さんは、「ドローン放牧を実践し地域を守る」と題して、自宅の肉用牛経営を手伝うなかで、飼料価格の高騰や耕作放棄地の増加、担い手不足を課題として捉え、これを解消するために、ドローンを活用した放牧に取り組みたいと発表

しました。さらに、地域を盛り上げていくためSNSを使った情報発信や震災からの復興と記憶の継承にも取り組んでいきたいと発表しました。

審査結果については、皆、惜しくも受賞は逃しましたが、これまでの取り組みや発表に向けた準備は大きな経験になったと思います。



プロジェクト発表の部

学 科 名	氏 名	テ ー マ
水田経営学科	大関 仁之	カンショ新品種「あまはづき」の品種特性及び低温貯蔵技術の活用
畜産経営学科	三浦さくら	牧草収穫跡地における飼料用トウモロコシの不耕起栽培
畜産経営学科	安齋 彩夏	細霧装置使用による暑熱対策の効果

意見発表の部

学 科 名	氏 名	テ ー マ
畜産経営学科	門馬 聖弥	ドローン放牧を実践し地域を守る
果樹経営学科	伊藤 孝誠	農業をもっと身近な存在に

肉用子牛のための「“強化”哺育専用代用乳」ができました!!



“強化”哺育とは…

- ・子牛が本来もっている発育能力をフルに発揮させる哺乳方法です。
- ・従来の粉ミルクとは全く違った栄養バランスの粉ミルクを、通常よりも多く給与することにより、フレームのしっかりした牛に育ちます。また、固形飼料の摂取量低下を防ぎ、より食い込める素牛への成長を助けます。

福島県酪農業協同組合 〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 TEL：0243-33-1101(代)

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン制度） 発動状況

(単位：円／頭)

販売月		肉専用種 (東北ブロック福島県)	交雑種 (全国)	乳用種 (全国)
令和6年10月	確定単価	103,277.7	3,477.6	42,574.5
	概算払い単価	96,277.7	0.0	35,574.5
	精算払い単価	7,000.0	3,477.6	7,000.0
令和6年11月	確定単価	3,928.5	0.0	39,900.6
	概算払い単価	0.0	0.0	32,900.6
	精算払い単価	3,928.5	0.0	7,000.0
令和6年12月	確定単価	0.0	0.0	40,308.3
令和7年1月	暫定単価	49,897.8	0.0	53,238.6
	概算払い単価	42,897.8	0.0	46,238.6
	精算払い単価	7,000.0	0.0	7,000.0

※生産者負担金の猶予対象牛(コロナ対策)については支払い交付単価の3/4の支払となります。

※R4. 7月販売分より概算払単価は、標準的生産費と標準的販売価格との差額に100分の90を乗じた額から7,000円を控除した額となります。

福島県養蜂協会 第80回定期総会開催

福島県養蜂協会

2月13日(木)に福島市の摺上亭大鳥にて第80回定期総会が開催されました。

議事に先立ち、昨年8月に開催された第37回福島県はちみつ品評会の表彰が行われ、農林水産大臣賞を受賞した白河市の池澤洋一氏をはじめ各賞の代表に賞状が授与されました。



第80回定期総会

議題については、出席した会員により令和6年度の事業報告及び令和7年度の事業計画など原案通り承認され、総会は閉会しました。



農林水産大臣賞を受賞した池澤洋一氏



動物と人の間に、いつもゼノアック。



日本全業工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1
www.zenoqa.com



家畜取引状況報告

令和7年1～2月 和牛子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

（税込み）

開催月	性別	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均体重 (kg)	平均単価 (円/kg)	平均日齢 (日)	販売先	
			最高	最低	平均				県内	県外
1	雌	322	859,100	162,800	490,391	292	1,678	292	191	130
	雄									
	去勢	368	1,098,900	152,900	640,719	319	2,009	288	194	173
	計	690	1,098,900	152,900	570,580	306	1,862	290	385	303
2	雌	286	893,200	275,000	521,283	295	1,770	291	156	127
	雄									
	去勢	355	1,002,100	209,000	678,992	323	2,105	286	169	185
	計	641	1,002,100	209,000	608,927	310	1,964	288	325	312

令和7年1～2月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

福島県酪農業協同組合

（税込み）

開催月	種別	頭数 (頭)	取引価格 (円)		
			最高	最低	平均
1月 第351回	ホル雄	47	66,000	1,100	31,135
	ホル去勢				
	ホルフリー	1	1,100	1,100	1,100
	F ₁ 雌	58	143,000	22,000	98,672
	F ₁ 雄	75	183,700	33,000	129,815
	和牛雌	13	396,000	284,900	335,077
	和牛雄	34	526,900	118,800	418,259
	和牛去勢				
2月 第352回	ホル雄	45	68,200	1,100	40,064
	ホルフリー	2	16,500	1,100	8,800
	F ₁ 雌	64	189,200	79,200	161,408
	F ₁ 雄	59	226,600	44,000	193,227
	和牛雌	17	438,900	96,800	346,694
	和牛雄	31	608,300	299,200	422,897
	和牛去勢				
	計・平均	218	608,300	1,100	195,205

令和7年1～2月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

（税込み）

開催月	資格	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均単価 (円/kg)	平均体重 (kg)
			最高	最低	平均		
1	乳登						
	妊娠牛						
	E T 和雌	5	304,700	192,500	268,620	2,569	105
	E T 和雄	5	388,300	225,500	332,420	3,365	99
	乳雌牛	1	1,100	1,100	1,100	15	72
	乳雄牛	20	24,200	1,100	8,685	99	87
	乳去勢子						
	F ₁ 雌(育成)						
	F ₁ 去(育成)						
	F ₁ 雌(スモール)	37	143,000	22,000	97,425	1,320	74
	F ₁ 雄(スモール)	41	161,700	1,100	126,339	1,489	85
	計・平均	109	388,300	1,100	110,703	1,334	83
2	乳登						
	妊娠牛						
	E T 和雌	2	332,200	306,900	319,550	3,072	104
	E T 和雄	7	568,700	301,400	442,828	4,090	108
	乳雌牛						
	乳雄牛	16	38,500	1,100	20,272	245	83
	乳去勢子						
	F ₁ 雌(育成)						
	F ₁ 去(育成)						
	F ₁ 雌(スモール)	32	195,800	61,600	143,928	2,026	71
	F ₁ 雄(スモール)	31	232,100	92,400	190,123	2,418	79
	計・平均	88	568,700	1,100	168,863	2,125	79

牛も安心 地球も安心

福島県推奨のたね

県奨励品種優良牧草・飼料作物種子
福島県畜産振興協会

〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地

Tel 024-573-0515

Fax 024-573-0565

地方競馬 場外発売日程

(4月)

日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
日曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
ニュートラック 福島		笠松	木橋				水沢		園田	笠松				水沢	笠松	園田	笠松				水沢		園田					水沢	笠松	
オーブス磐梯		船橋					川崎							大井								浦和							大井	

(5月)

日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
ニュートラック 福島		笠松 大井				盛岡 園田		船橋	笠松				盛岡		笠松				盛岡		園田	大井	笠松				盛岡	園田	浦和	笠松		
オーブス磐梯		大井						船橋					川崎								大井							浦和				



※ 発売日程は、変更になることがあります。

地方競馬の収益金は、畜産振興及び地方財政の改善に活用されています。

JRAはJ-PLACE 発売日（発売レースは後半4レース）



地方競馬全国協会